

小説家で教育者

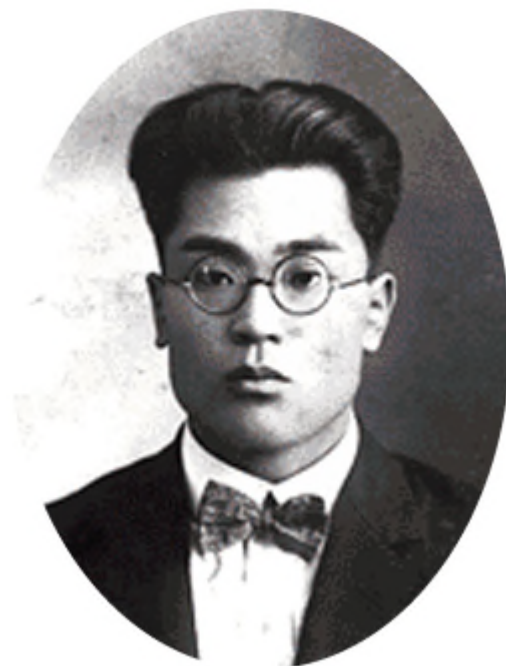
木村 不二男

きむら ふじお

出身地 大館市

1906年（明治39年）～1976年（昭和51年）

早くから文学に目覚め、生涯を通して教師であり、小説家であった。北海道に取材した作品が多く、雑誌等を背景に活躍した。『文学的自叙伝』が晩年の作品として知られる。



年譜

- 1906年 おおだて 大館市に生まれる。
- 1917年 きむらぶんすけ 父・木村文助とともに北海道はこだて函館市に移住。
- 1925年 しはん 函館師範学校卒業。かめだ いしざき 亀田郡石崎小学校訓導。
『赤い鳥』に児童作品、自分の作品を発表。
- 1930年 どうじん し ぶたい 上京。同人誌を舞台に文学活動を展開。てんかい
- 1932年 かまた やぐち じんじょう 東京蒲田・矢口東尋常高等小学校教員。
復刊『赤い鳥』に児童作文を発表。
- 1940年 つづりかた 『綴方教師』を刊行。
- 1945年 おしま もり もり 北海道渡島支庁森町立森高等女学校教諭。
- 1976年 ぼつ さい 北海道で没。70歳。